

小さな攻撃性 (マイクロアグレッション)

ぼくの名前はボブ。日本で生まれ、ずっと日本で生活しています。



だから、ぼくは日本語しかしゃべれないのですが、話をすると必ずこう言われてしまいます。

日本語が本当に上手だね。



褒めてくれるのはうれしいのですが、ぼくはこの言葉が好きではありません。



それはこの言葉の中に、「日本人じゃないの」という意味があるからです。



だからこの言葉を聞く度に、ぼくは見えない壁を感じ、悲しい気持ちになつてしまいます。

昔、このことを仲よしの友だちに伝えたり、「考えすぎだ」とりあってくれませんでした。



だから、それからずっと気にしないようにしてきましたが、ぼくは先日、「マイクロアグレッション」のことを知りました。

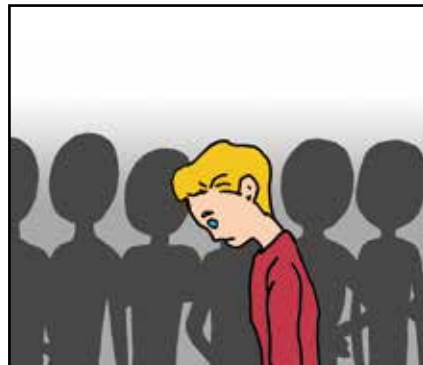


小さな攻撃性 (マイクロアグレッション) とは

社会の*少数者 (マイノリティ) に対して向けられる偏見や思い込みが、ささいに見える言動として表れたもの。ささいな言動が積み重なることで、少数者を深く傷つけることとなります。

*障がい者、高齢者、女性、セクシャルマイノリティ、人種や民族が違う人々

少数者への思い込みによるささいな言動：その小さな攻撃の積み重ねが、ぼくを追い込んでいることを初めて理解しました。



だから、ぼくは今、「マイクロアグレッション」のことを、もっとたくさんの人に知ってもらえたら、お互いに分かり合えるのと思っています。

